

アーツライブいわて2022 街なかアーツライブ盛岡

# 一人芝居・一人語りフェス 2022

9/10(土)  
11(日)

出演 伊勢二郎

朗読劇  
高橋克彦百物語  
「愛の記憶」

1

9/16(金)  
17(土)

朗読「銀河鉄道の夜」

出演 栗田桃子

2

9/18(日)

出演 榎谷伸夫

一人芝居  
南部昔つ語り

3

## もりおか町家物語館 浜藤ホール

盛岡、東京、八戸の実力俳優3名による、一人芝居・一人語りの競演！  
歴史的建造物 旧岩手川酒造の酒蔵を活用した“浜藤ホール”にて選りすぐりのプログラム3作品を連続上演！

文化庁 統括団体によるアートキャラバン事業（コロナ禍からの文化芸術活動の再興支援事業）「JAPAN LIVE YELL project」

【主催】アーツライブいわて実行委員会/NPO法人いわてアートサポートセンター/公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 【共催】盛岡市 【後援】岩手県/岩手県文化振興事業団/岩手県芸術文化協会/岩手日报社/朝日新聞盛岡総局/読売新聞盛岡支局/毎日新聞盛岡支局/産経新聞盛岡支局/河北新報社/盛岡タイムス社/岩手日日新聞社/NHK盛岡放送局/IBC岩手放送/テレビ岩手/めんこいテレビ/岩手朝日テレビ/エフエム岩手（順不同）



## チケット

●全席自由席 ●開場は開演30分前 ●未就学児の入場はご遠慮ください。

1	朗読劇 高橋克彦百物語 「愛の記憶」	A 9/10(土) 13:30 開演	一般	1,500円
		B 9/11(日) 13:30 開演	大学生以下	1,000円
1公演	2 朗読 「銀河鉄道の夜」	C 9/16(金) 19:00 開演	一般	2,000円
		D 9/17(土) 13:30 開演	大学生以下	1,500円
3	「榎谷伸夫 南部昔コ語り一人芝居」	E 9/18(日) 13:30 開演	一般	1,500円
		F 9/18(日) 16:00 開演	大学生以下	1,000円

3公演通し券(限定20枚) 4,000円

### フレイガイド窓口

カワトク/プラザおでつて/もりおか町家物語館  
/いわてアートサポートセンター 風のスタジオ/  
Cyg art gallery

### オンライン予約

こちらのフォームより  
事前予約が可能です。  
(当日払い)



## 会場

### もりおか町家物語館 浜藤ホール

岩手県盛岡市鉾屋町10-8 / TEL: 019-654-2911



- 駐車場** 敷地内16台。なるべく公共交通機関をご利用ください。
- バス** 盛岡駅13番乗り場矢巾営業所行き→「南大通二丁目」降車、徒歩7分・盛岡駅5番乗り場盛南ループ『200』菜園先廻り(右回り)→「南大通二丁目」降車、徒歩7分

ご来場のお客様へお願い(新型コロナウイルス感染拡大防止対策について) ●施設内では、必ずマスクのご着用をお願いいたします。 ●ご入場の際は検温・手指消毒にご協力ください。37.5度以上の発熱がある方は、入場をお断りさせていただきます。 ●発熱、咳や喉の痛み、倦怠感等の症状のある方、体調に不安のある方はご来場をお控えください。 ●ご来場者の氏名・連絡先等をチケット裏面の指定部分にご記入ください。公演にて感染者が確認された場合、お客様情報を保健所等に提供する場合がございます。 ●出演者へのご面会、祝花やプレゼント等のお預りは出来かねますのでご遠慮ください。

本公演、「アーツライブいわて2022」の  
最新情報はこちら

<https://iwate-arts.jp/>



Facebook

[特定非営利活動法人  
いわてアートサポートセンター]



Twitter

@Artslive\_iwate



お問い合わせ **いわてアートサポートセンター**

# 一人芝居・一人語りフェス 2022

演目

## 1 朗読劇 高橋克彦百物語 「愛の記憶」

2011年8月、東京西新宿「芸能花伝舎」での「東日本大震災被災三県復興支援イベント」の際、盛岡市出身ピアニスト菊池大成氏が作曲したテーマ曲と共に当作品は歩み続け、今回初の一人語り上演となりました。高橋克彦氏記憶シリーズ人気作品2022年版です。

## 2 朗読 「銀河鉄道の夜」

文学座の演出家 鞆山仁演出の下、女優 栗田桃子が朗読する「銀河鉄道の夜」は、ニューヨーク在住のピアニスト フランク・ウェバーによるオリジナル楽曲と、ワックスアート作家 米澤純による舞台美術とともに、宮沢賢治の世界を幻想的でイメージーション豊かに彩ります。

## 3 榎谷伸夫 南部昔つ語り 一人芝居

八戸の俳優・榎谷伸夫による南部地方に伝わる民話や笑い話などを南部弁で語る一人芝居。八戸市鮫町に江戸時代から伝わる伝統芸能 鮫神楽の演目「墓獅子」(青森県無形民俗文化財)を劇中で舞手が披露します。

日時

A	B
9/10(土) 13:30開演	9/11(日) 13:30開演
※開演は開演30分前より	

C	D
9/16(金) 19:00開演	9/17(土) 13:30開演
※開演は開演30分前より	

E	F
9/18(日)	
13:30開演	16:00開演
※開演は開演30分前より	

出演



盛岡市出身。初舞台は3歳の時。爾来、学業より演劇、仕事より舞台の人生を重ね今に至る。主な出演作品に、藤原正教作「おつむてん」、盛岡版朗読劇「高橋克彦百物語」、波谷ジアンジアン寺山修司演劇祭 劇団赤い風参加作品、IBCミステリーサークルラジオドラマほか。主なプロデュース&演出作品では、野外演劇公演クリオの翼「三ツ石奇譚」、盛岡マニラ親善交流公演「I am Tarou Satou」、寺山修司作「伯爵令嬢小鷹狩ゆづりの七つの大罪」、「アスリープコール」ほか。



東京都出身。文学座付属演劇研究所を経て、1997年、文学座座員となる。94年『鼻』で初舞台以降、舞台を中心にドラマ、吹き替え、ラジオドラマなど活躍の場を広げている。主な舞台に、『終夜』、『熱帯樹』、『岸リトラル』、『岬のマヨイガ』、『森フォレ』、『みんな我が子～all my sons～』などがある。2008年『父と暮らせば』(こまつ座)にて第8回朝日舞台芸術賞寺山修司賞受賞、2010年『父と暮らせば』(こまつ座)、『くにこ』(文学座)にて第45回紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。



八戸市出身。八戸聖ウルスラ学院高等学校地歴担当教諭を経て、現在は八戸市民館館長を務める。青森県語り部ネットワーク会長。方言を使い八戸市鮫町地域を題材にした、一人芝居『海村～老漁師吉田正吉が語る鮫村異聞～』は、82年の初演以降、県内外で約50ステージ上演。多数の舞台出演のほか南部弁を使った昔話生語りや演劇作品の脚本・演出も手がける。平成21年度八戸文化賞受賞、平成26年度八戸文化功労賞受賞、令和3年度青森県文化賞受賞。



### 朗読劇 高橋克彦百物語

盛岡在住の作家 高橋克彦による奇談・怪談を朗読劇にした「朗読劇 高橋克彦百物語」は、いわてアートサポートセンターが企画、岩手の演劇人・アナウンサーらが出演し、これまで16年に渡って30作品以上を上演している。

### Milky Way Project

文学座の女優・栗田桃子とキャンドル/ワックスアート作家・米澤純が朗読「銀河鉄道の夜」公演企画のために立ち上げたプロジェクト。2017年初演以降、全国各地で上演中。



### 伝統芸能 鮫神楽の演目 「墓獅子(はかじし)」

幕前で獅子舞を披露し、故人を偲ぶお盆の伝統行事「墓獅子」は、八戸市鮫町に江戸時代から伝わる青森県無形民俗文化財である。



スタッフ

作 高橋克彦  
 脚色・演出 盛合なおと  
 作曲 菊池大成  
 照明プラン 工藤雅弘  
 照明操作 平戸織好  
 音響操作 刈屋千帆子

原作 宮沢賢治  
 演出 鞆山仁(文学座)  
 照明 阪口美和(文学座)  
 音響 日下部麻里  
 音響操作 金子幸世  
 映像 浦島啓  
 音楽 フランク・ウェバー  
 舞台美術 米澤純(Jun's Light)  
 演出助手 谷 ころろ(文学座)

作・演出 榎谷伸夫(八戸市民館館長)  
 「墓獅子」舞手 鮫神楽連中  
 照明 工藤雅弘  
 スタッフ協力 いわてアートサポートセンター